



Bulletin
NO.819

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF

KYOTO

CLUB OFFICE / KYOTO YMCA : Yanagimobanba, Sanjo, Nakagyo-ku, Kyoto 604-8083 Japan Phone(075)231-4388 http://www.kyotoys.com/

2016, 2

68th

CHARTERED 1947

2015~2016年度 主題

国際会長(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

Theme : "Mission with Faith" 主題『信念のあるミッション(使命・目標)』

Slogan : "Count Your Blessing" 標語「恵みを数えよう」

アジア地域会長(AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

Theme "Through Love, Serve" 主題『愛をもって奉仕をしよう』

Slogan "Let it Begin with Me." 標語「まず自分から始めよう」

西日本区理事(RD) 遠藤 通寛(大阪泉北)

主題:『あなたならできる!きっとできる』 "You can do it! Yes you can!"

副題:一生きる しなやかに さわやかに—"Live flexibly and refreshingly"

京都部部長(DG) 高田 敏尚(京都)

主題『いつも喜んでいなさい』 "Be joyful always"

強調月間

TOF・CS・FF の月

会長	合田 太一
副会長	田中 孝明
書記	大田 龍二
	相原 隆幸
会計	西村 博一
	中村 泰之

京都ワイズメンズクラブ 第68代会長 合田 太一

"Reborn" 『生まれ変わる、未来のために』

恋したら弱くなる?



友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。

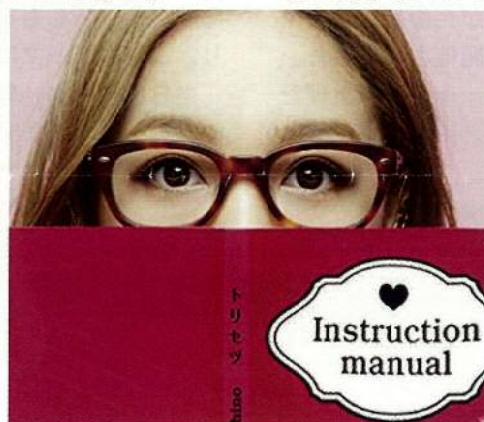
今月の聖句 (ヨハネ一五・一三)

数年前に、ある女の子から「今流行っている歌手」として教えてもらった西野カナでしたが、なかなか聴く機会が無く、今やすっかり恋愛の歌のスタンダードになってしまいました。ヒットした「トリセツ」のユーモアに、ほほえんだ人も多いと思います。女性たちの等身大の思いを、元気に、パワフルに、そして時に切なく歌い上げます。日常生活に格闘し、振り回され、頑張っている女性たちを励まし、元気づけているのでしょうか。多くの女性達から支持されています。

彼女たちの重大な関心事の一つは恋愛!恋愛の様々な局面に置いて、彼女たちの繊細な心は大きく揺れています。出会って嬉しい、一緒に居て楽しい、という喜び。可愛く見せたい、私をもっと見て欲しい、もっと一緒に居たい、といういじらしさ。なかなか会えない、彼の心が分からない、これからどうなるのだろう、というもどかしさや不安。彼の心が離れてしまった、バイバイしてしまった悲しみ…。

殆どの人が経験したであろう道ですが、振り返ってみると、恋愛に於ける心の揺れはとても大きく、費やすエネルギーも甚大であることに驚きます。

恋をすると弱くなってしまうのでしょうか。ちょっとし



西野カナ『Secret Collection』から

た状況の変化に不安になり、小さな言葉で傷ついたりします。相手の思いが欲しくて、自分の思いを遂げたくて、けれども思い通りにいかない、そんな時に胸が痛くて苦しくなって動けなくなります。

けれども大丈夫、再び強くなるときがやってきます。それは愛するときです。「恋」の向こうには「愛」があります。今まで相手から求めることの多かった「恋」の次には、今度は、相手を元気づけ、相手を豊かに生かそうとする「愛」がやってきます。そして「愛」は強いです。愛する人を守り、生かし、力づけるためには、押し寄せてくる荒波や立ちはだかる壁に負けてはいられません。愛は、自分の中から、今までに無かった強さを引き出してくれます。

「神は愛なり。」神様は強いです。けれども同時に神様は、人間によっていっぱい傷ついておられます。自分の思いが届かない、自分の思いを分かってくれない経験をいっぱいしておられます。神様は傷つきながらも、この上なく力強く私たちを愛してくださいます。

イエス様は、愛する人々から傷つけられ、裏切られ、十字架に掛けられました。けれどもご復活を通して人々に永遠の命の希望を示すことで、ご自分の愛を示されました。やはり、愛は強いのです。

1月例会出席者及び出席率 在籍者32名
例会出席者29名 ゲスト2名 ビジター0名
メークアップ2名 1月出席率→96.9%
12月最終出席率 メークアップ後確定→%

ニコニコ
1月分
累計 5,000円
69,300円

クラブファンド
累計 722,280円

BF現金ポイント
累計 0pt

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"



1月12日(火)

1月12日今年最初の例会である新年例会が開催されました。

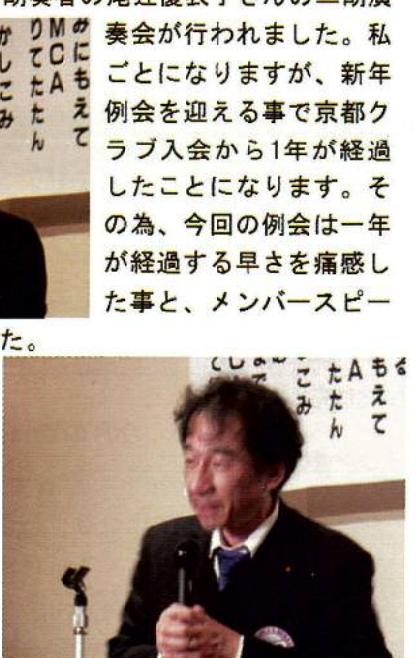
例会の冒頭に、京都部の全クラブが協力して舞鶴にワイズメンズクラブを新設しようと頑張っておられる委員会の船木委員長が山岸EMC主査と河原トップスクラブ会長を伴って参加され、2月21日開催予定の舞鶴YMCA新春講演会&賀詞交換会への参加を呼びかけるPRをされました。

新年例会のプログラムとしては、2015年入会メンバーのメンバースピーチ、それに二胡奏者の尾辻優衣子さんの二胡演奏会が行われました。私

ごとになりますが、新年例会を迎える事で京都クラブ入会から1年が経過したことになります。その為、今回の例会は一年が経過する早さを痛感した事と、メンバースピー

チを行った事が印象的でした。

メンバースピーチは約3～5分間程度で内容は何でも良いという事でした。今回は自分自身の事を率直に伝えるため、特に内容を考えずにスピーチに臨ませていただきました。しかし結果は、話の内容



は色々と伝えることは出来ましたが、やはり内容にまとまりが足りなかったことを感じました。またこのような機会があった時には、もう少し余裕を持って颯爽とスピーチが出来るように精進したいと思いました。



その後は、13歳から二胡を始め数々のコンクールに入賞されたことのある若き二胡演奏者 尾辻優衣子さんの演奏が行われました。演奏後にブログを拝見すると本当に若くして色々なイベント・コンクールに出場されている事が分かり、改めて素晴らしい二胡演奏者であることを感じました。二胡という楽器は人の声に近いという説明を聞いてから、よく演奏を聞いてみると本来人が歌うべき部分を楽器で演奏されている事が聞き取れました。演奏後には二胡という楽器を初めて実際に触れてもらいました。聞いても触れてみても本当に不思議な楽器だという印象が強く残りました。また機会があれば演奏を聴きに行きたいと思います。

新年例会は1年の始まりとして良い例会になったと思いました。京都クラブのメンバーは問題なく大丈夫だと思っていますが、今年一年も皆様御健勝に過ごしていかなければと思いました。



YMCA 取材シリーズ「ご存知でしたか?」

大学院生、高校生、YMCA職員の3名が企画したワークショップが昨年末12月11日三条本館で開催されました。テーマが「難民」と聞いて少なからず驚き、その取り上げた経緯を聞かせてもらいました。（12月13日付京都新聞に記事と写真の掲載あり）

昨年夏にワイズメンズクラブ国際協会アジア地域大会が京都であり並行してアジアユースコンボケイション（AYC）が開催されました。AYCは上記3名の他に台湾、中国、ナイジェリア、モンゴル、フィリピンなどユース48名が集い5日間テーマ「平和な世界を築くために、私たちに何ができる？」を中心にディスカッションを重ねました。そのプログラム後のアクションプランとして3名が相談しテーマを「難民」に決めたそうです。

テーマが決まるまでには「異文化」を中心にしていいものの、ただ「交流」で楽しいだけでは物足りないと意見や、文化の違いによっておきる身近な問題に注目して日本在籍の外国人への無理解をクローズアップしたい、などの意見が上がったそうです。そのような議論があった昨

「難民」をテーマに取り上げた若者たち

年秋ごろ、折しもヨーロッパなどで「難民」問題が持ち上がり、これをテーマにしようと決めたということです。

当日は初めに「難民」についての解説で全体像をつかみ、その後テーマ毎に分かれ、用意された資料から読み取った事実を発表、さらに興味ある分野の話し合いをしました。新聞やニュースで知っていた問題ではあるものの、遠く離れたアジアであることに甘えていたようですが、ワークショップを通して身近なテーマになりました。



さて冒頭に書いた「テーマを聞いて驚いた」理由です。このような大きなテーマに挑戦する彼らの意識の高さです。AYCがきっかけの一つではあったものの、現在進行の問題で参加者や話の流れでどちらに流れるか分からない内容です。目的は？と聞くと「解決出来ない問題にも向き合う事です」との返答、私には出来ない企画です。彼らから学ぶことはあまりに多くあります。そしてもちろん「難民」問題はしっかりと私の中に根づきました。

若者たちに乾杯！

(三保俊幸記者)



取材シリーズ「ご存知でしたか?」 京都Y M C Aの新事業「アフタースクール」

1. アフタースクールってどのようなもの?

保護者が就労などで昼間は家庭が留守になる家庭が増えています。そのような家庭の子どもたちの放課後を有意義に活用する放課後児童クラブです。宿題を済ませ、お友だちやリーダーと安全に楽しくグループ活動を行います。またスイミングまたは体操がセット(希望者は英会話も受講可)されている京都で最もユニークな放課後児童クラブです。

子どもたちは、学校よりも長い時間をYMCAで過ごし、リーダーとの関わりや習い事を通して子どもたちのSpirit Body Mindのバランスのとれた成長を支援していきます。

2. 対象となる年齢や条件はどのようなものでしょうか?

民営の放課後児童クラブですので、他の公設の放課後児童クラブのような規制はありません。保護者の出産や介護等の理由で昼間に家庭に保護者がいらっしゃらない場合も参加していただくことができます。

3. 開催されている日程と場所は?

月曜から金曜の放課後~19時迄です。希望の場合は20時まで対応しています。子どもたちは曜日固定の週3~5日を選択し、放課後にYMCAにやってきます。夏休みなど学校のお休み期間は、希望者は朝8時から参加することができます。高倉小と御所南小の1年生には学校までリーダーがお迎えに行き、一人でYMCAに通えるように導いています。現在は地階の2つの教室を使い、宿題に取り組んだり、みんなで遊んだりしています。またマナホールや近くの公園で遊ぶこともあります。

4. いつから開催され、現在の利用人数は?

2015年4月から開設しました。家庭の事情や不登校、YMCAの目的と保護者のニーズが異なるなどで何名かは退会され、現在は2名と寂しくなりましたが、冬休みは期間限定の子どもたちが加わり、計8名の参加でした。

5. 先生又は指導者はYMCAのスタッフの方たちですか?

開設したばかりですので、この数年間は非常勤講師を中心になって運営することにしていますが、ボランティアリーダーも指導者に加わっています。今後もっとたくさんのボランティアリーダーが応募してくれることを願っています。

6. アフタースクールを開設されたお考えは?
また、今後YMCAにとつ



て、どのような位置づけと方向をお考えでしょうか?

YMCAの周辺地域はマンションが数多く新設されていることもあります。今は子どもたちの人数は増加していますが、YMCAに来ている子どもたちの人数は大きくは増えません。就労などで保護者が平日にYMCAに行かせたくても送迎できない家庭が増加していることによります。この地域には公設の放課後児童クラブは3クラブありますが、いずれも国が目安とする定員60名を大きく超える参加人数になっています。マンションの新設用地にも限界があり、いずれYMCA周辺地域も子どもの人数が減に転じる時期がくることは間違ありません。

子どもたちは学校教育や家庭教育、社会教育で成長しています。就労などで昼間に保護者が家にいない家庭の子どもたちは、社会教育を受ける機会が少なくなっています。特に低学年の子どもは保護者の送迎がなければ通うことはできません。保護者が就労している、そのような家庭の子どもたちがYMCAのスイミングや体操、英会話等に参加できるシステムを今のうちにつくっておく必要性を感じたからです。現在は、定員15名の部屋しか確保できません。今後は定員を増やせる部屋の確保が課題です。

また、働く保護者の子育てのパートナーとして子育てを支援できる体制や内容の充実をしていきたいと考えています。

7. ワイズメンもお手伝いできるの?

幼稚園や保育園の時は保護者が送迎していたのが、小学1年になると子ども一人で行き帰りをすることになり、急にハンドルが高くなります。送迎のお手伝いと一緒にして頂けると大変ありがとうございます。アフタースクールでは、ゲーム機やテレビを置いていません。画用紙や新聞紙で物を作り遊んだりしています。宿題をきちんと終えられるようサポートもしています。そのような活動のお手伝いもお願いしたいです。

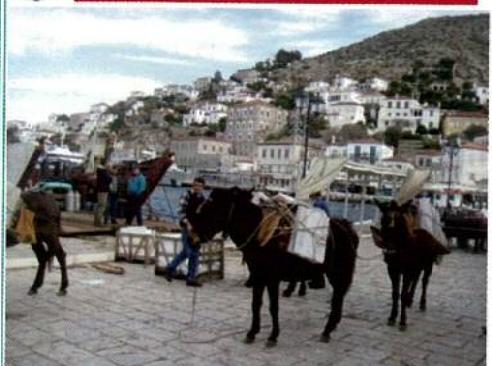
夏休みなどは時間がたくさんあります。御所や鴨川まで遊びに行ったりすることもあります。時間をかけておやつを作ったり、工作をしたりしています。子どもたちが体験しにくくなったり遊びを教えてくださる方や植物や昆虫に詳しい方など



若い指導者が知らないことをワイズメンの皆さまはたくさん知っておられることだと思います。ぜひそのようなことを子どもたちや若い指導者に教えていただければと願っています。(石若義雄記者)



高田京都部部長のお部屋



ロバに轡えこもったこと

『いつも喜んでいなさい』今期の初めにずっと言ってましたが、ここしばらく忘れかけていました。これは聖書の言葉です。パウロが書いたテサロニケ人への手紙の一節です。このテサロニケというのは、今のギリシャの地名です。そのギリシャに行ってきました。人というのは不思議なもので、ふとしたことがきっかけで行動をおこすものです。失業率25%の国、難民がエーゲ海を渡って押し寄せてきている国というのがメディアを通して知っているイメージでしたが、ごく普通の状態でした。首都アテネから船で3時間、エーゲ海上に浮かぶイドラ島は小豆島の3分の1の面積で人口は3千人、観光産業は盛んですが、車もバイクもなく移動手段はロバだけという島でした。「見よ、あなたの王がろばの子に乗っておいでになる」というように聖書にもよく出てくる動物です。この聖書の世界のような港町を歩きます。この時は意識しなかったのですが、次の島での車やバイクの音にうんざり、何より危険です。文明の利器も亡くしてしまうとその功罪が見えてくるものです。

**7. ネパールチャリティーバザー**

ネパールYMCAが運営する児童養護施設の支援のためにネパールチャリティーバザーを開催します。世界の料理が味わえる屋台やバザー、ネパール文化とふれあえるイベントもあります。ぜひお越しください。

日 時 2月7日(日)午前11時～午後3時

お問合せ 075-231-4388

2. 創立記念会員集会

現在全国のYMCAで取り組んでいるリプランディングやリソースモビリゼーションによるYMCAへの支援拡大を図るために働きについて学び、京都YMCAの会員活動の活性化や寄付金および会員の拡大について共に考える集会です。ぜひご参加ください。

日 時 2月13日(土)午後6時半～

テーマ 地域から求められるYMCAをめざして
～人と支援が集まる団体として～

場 所 京都YMCA マナホール

お申込み(TEL)075-231-4388/(E-mail)kyoto@ymcajapan.org
電話またはメールにて事前にお申込みください。

3. ピンクシャツデー

ピンクシャツデーは、2007年にカナダで始まり、世界中に広まつたじめ反対運動です。毎年2月の第4水曜日がピンクシャツデーとして定められ、賛同者はピンクのアイテムを身に付けることで「いじめ反対」の意思表示をします。今年は、2月24日(水)がピンクシャツデーです。京都YMCAでもピンクシャツデーを実施し、被害者の自己肯定感を下げ、自信と生きる力を奪う「いじめ」をなくしていくことを地域・社会にアピールしたいと考えています。ピンクのアイテムを身に付け、いじめについて考える1日となるよう、ぜひご協力ください。

4. 平和のための開発教育セミナー

平和をテーマにした「開発教育」の入門編のセミナーの第2回目です。1回だけの参加も可能です。ぜひご参加ください。

日 時 2月26日(金)午後7時～9時

テーマ フォトランゲージー地球の食卓

場 所 京都YMCA 三条本館

対 象 興味と関心のある方

参 加 費 無料

お申込み (TEL)075-231-4388

**1月17日(日) 展開する京野菜マルシェ**

昨年の12月、京都クラブの忘年会があった日、西田さんから私の携帯に電話がかかってきた。「フレイバーズをやめました。京都クラブさんとのマルシェを続けることはできますか?」突然のことでびっくりしましたが、もちろんOKですと返事をし、今後のマルシェの展開について話し合いました。盛り上がる忘年会の最中に、誰に気づかれる事もなく私はこんなシビアな会話をしていたのです。

今日のマルシェの店番中に、店をやめてどうされてるのか尋ねました。西田さんは名刺をくれて、「NTアグリ」という会社を起業しました。事務所は五条のリサーチパークにあります。」なんというバイタリティだろう。さらに話を聞くと、すでに8件のプロジェクトに取り組み中で、どうにも時間がとれないで店をやめるしかなかったのだそうです。ここで、NTアグリについてもう少し解説すると、

『野菜で人をつなげる未来農業創造』、業務内容は「商品開発から販売先開拓まで総合的なコンサルティング業務」「農村施設、加工施設などの開発、運営」「作付け野菜の提案、販売」「飲食業向け付加価値提案・京野菜普及活動」とのことです。さらに楽しみな京都クラブの相棒になっていらっしゃいます。いやもうメンバー候補なのかな…。

今日のマルシェは、上野農園さんに伴われた京北町の若者が野菜販売の隣で「特製たこ焼き」の屋台を出店してくれました。清算して渡してくれた寄付金三千円、Yの入金伝票名は「マルシェたこ焼き」としておきました。翌日の事務所で「これ何の寄付?」と皆さんずいぶん楽しまれたそうです(笑)。

**案内板****(2月の予定)**

2日(火)役員会	19:30～三条Y
5日(金)第5回京都部役員会	19:30～三条Y
7日(日)ネパールチャリティーバザー	11:00～三条Y
9日(火)TOF例会	19:00～ホテル日航プリンセス京都
13日(土)京都YMCA創立記念会員集会	18:30～三条Y
14日(日)第3回京都部評議会	10:00～三条Y マナホール
21日(日)舞鶴新春講演会＆賀詞交換会	17:00～舞鶴YMCA専門学校
26日(金)修了文集アルバム製作ワーク	18:30～三条Y
28日(日)CSチャリティーボウリング大会	15:00～しょうざんボウル

(3月の予定)

1日(火)役員会	19:30～三条Y
3日(木)日本語科修了式	10:00～三条Y
6日(日)リセンチャリティゴルフ大会	8:30～瑞穂GC
8日(火)例会	19:00～ホテル日航プリンセス京都
13日(日)全国車いす駅伝競走大会介助	8:30～グランドプリンスホテル京都
13日(日)卒業リーダー祝会	14:00～三条Y マナホール
20日(日)ミニバスケット大会昼食支援	9:00～横大路運動公園
25日(金)平和セミナー	19:00～三条Y
27日(日)サバエキャンプ場芝生ワーク	9:00～サバエ教育キャンプ場
27日(日)京野菜マルシェ	9:00～集合三条Y駐輪場

役員会報告

2015-2016年度 1月 役員会

12月26日(土)17:00～於 三条YMCA
出席役員：10名 欠席役員：8名

<議案>

1 三保次期会長より次期三役の人選について発表があり承認された。

次期三役は次の通り。副会長 石若Ys、横山Ys、

書記 佐々木Ys、中村Ys、会計 相原Ys、大田Ys。以上

<会長・三役会報告事項>

- ①舞鶴ワイスメンズクラブ設立準備時のイベント参加・協力について
EMC委員会で企画し、2月21日の舞鶴ワイスメンズクラブ設立準備の賀詞交歓会にクラブ事業として出席を検討する。
- ②クリスマス電飾LEDの舞鶴YMCAへの移設について
舞鶴YMCAに移設する電飾機材を選別し、2月21日の賀詞交歓会時に舞鶴YMCAに持つて行く。

<各事業委員長報告>一次回委員会日程は別紙日程表に記載—

Yサ・ユース:12/26電飾撤去のお礼、2/7ネパールチャリティーバザーのバーサー商品協力依頼有り。今後の予定 2/26アルバム作製、3/12車いす駅伝、3/20ミニバスケット大会昼食支援

地域奉仕・環境:12/6いのちの電話チャリティコンサートのお礼状の披露。12/6の京野菜マルシェは2店の出店あり。2/28京都部CSボウリング大会に京都クラブより10名、彦根シャトークラブより2名参加申込み。2/7ネパールチャリティーバーザーは、Yサと協力し餅つきと京野菜マルシェの出店を担当する。

ドライバー:1/12の例会はメンバー3名と二胡の演奏。2/9TOF例会は「イルトパンキ」鳥羽氏にコーヒーについて講演依頼。3/8例会はCS例会、4/10(日)はEMC花見例会、5月は講師例会を予定。

EMC:2月例会に講師紹介者の西田氏にも参加を呼びかける。2/21の舞鶴ワイスメンズクラブ設立準備の賀詞交歓会参加については上記報告通り。委員長欠席につき担当三役より委員長に連絡し検討する。

交流:なし

広報:なし

ファンド:なし

プリテン:1月号を現在作成中クリスマス電飾撤去の記事を入れて完成。年明けに印刷となり、例会配布は微妙なところ。発送は例会後。

文献保存:なし

京都部:2/6(土)EMC事業懇談会

* 次回役員会:2月 2日(火)19:30～21:00 三条YMCA

京都クラブのプリテンは、コスト削減のためパソコンで編集し、クラブ所有のレーザープリンターで450部手作りで作製していましたが、最近印刷をネット印刷に変更することによって、さらに大きくコストを下げることに成功しました(年間予算10万円)。このプリテンは京都クラブのホームページ <http://www.kyotoys.com/> では月初にご覧いただけます。

このプリテンに関するご質問、ご意見、ご感想などを

E-mail : tanupon@mbox.kyoto-inet.or.jp ブリテン編集長・三井哲次までお寄せください。お待ちしています。